

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成 29 年度第 2 回 第 1 分科会（生活環境、産業分野）
日時	平成 29 年 10 月 18 日（水） 午前 9 時 10 分～午後 0 時
場所	防災センター 2 階 セミナー室
出席者	市民委員 小倉 勲夫、堀場 敏之、田中 光晴、望月 晴夫、岩井 喜美子、高垣 澄子、 林本 剛幸
	市職員 郷原 実智雄、平野 優子（代理）、石坂 育己、大岩 直文、阿部 一郎、齊木 寿男、 谷 宣夫
傍聴者	なし
議題	1. まちづくり評価の結果について 2. その他
資料	資料 3 まちづくり評価【I 生活環境、産業分野】 資料 4 平成 29 年度江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査 （江南市市民満足度調査）報告書 （※第 1 回の会議資料と同じ）

◆ 会議結果 ◆

1. まちづくり評価の結果について

- ・前回の会議で回答が保留となっていた質問に対して委員（防災安全課長、総務予防課長、消防署長）より説明がありました。
- ・地震時における江南厚生病院や尾北医師会との連携について、江南厚生病院は、県知事の指定の地域災害拠点病院であり、災害の際には県知事の要請に基づき重症病者の受入れ、医療・救護班の派遣等が行われるため、市との協定は締結していない。尾北医師会との連携については各中学校に設置される医療救護所へ「災害時の医療救護に関する協定書」に基づき医療救護班の派遣を行っているとの説明がありました。
- ・小中学校のプールが消防水利に指定されている場合、公共施設の再配置の関係で今後なくなる可能性もあるので、事前に見込まれる地域に水利を整備しておくことで充足率が上がるのではないかとの質問があり、プールも消防水利に指定されており、プールが無くなったとしてもその付近にも他の水利が設置されているので、消防水利の充足率に影響はないとの説明がありました。
- ・小中学生に対する応急手当講習の実施時間及び講習修了証の配付について、避難訓練の中で 30 分ほど実施しており、講習修了証の配付については、中学生の職場体験に来た生徒に普通救命講習を 3 時間実施し、平成 28 年度は 4 校の 22 名に講習修了証を配付したとの説明がありました。

〔柱 4〕生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興

- ・資料 3 に基づき、委員（商工観光課長、農政課長）より説明がありました。

〔個別目標③〕地域に雇用の場が確保され、いきいきと働いている

- ・職業紹介による就職者数について、就職を希望する人は増えているのかとの質問があり、ここ数年は景気の回復により雇用情勢が改善され、有効求人倍率が 1 倍を超えている状態が続いている。完全失業率も減少傾向にあることから、ワーキングステーションに来る人は減っているとの説明がありました。
- ・就職支援セミナーや合同企業説明会に参加している企業数や業種に偏りはあるかとの質問があり、参加している企業の数や業種に偏りはないとの説明がありました。

〔個別目標⑤〕 市民は地域の観光資源に親しみ、多くの観光客が訪れて、地域が活性化している

- ・観光客数について、外国人の観光客はどれくらいいるのかとの質問があり、江南市を訪れる外国人観光客を全て把握することは困難であるが、江南藤まつりの開催期間中に来場した外国人観光客を観光バスの台数から推計すると500人程度になるのではないかと説明がありました。
- ・イベントに来場する外国人観光客を増やすことで、江南市が観光地として発展していくことが出来ると考えられるので、今後の課題としてはどうかとの意見がありました。

〔柱5〕 自然と調和した快適な生活環境の確保

- ・資料3に基づき、委員（環境課長）より説明がありました。

〔個別目標②〕 公害苦情等が少なく、生活環境が保全され快適な生活を送っている

- ・公害苦情件数について、どのような内容が多いのかとの質問があり、平成28年度では雑草、樹木の繁茂、野焼きの苦情が多かったとの説明がありました。

〔柱6〕 ごみ減量と適切な処理の推進

- ・資料3に基づき、委員（環境課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕 リサイクルが進み、市民が出す可燃ごみ量が減っている

- ・ボランティア分別指導員について、分別指導の方法についてボランティア分別指導員養成講座の中で説明しているのかとの質問があり、全体での交流会を年に1回開催して、ごみの分別指導について説明しているとの説明がありました。

2. その他

- ・全体会議の予定について事務局より説明がありました。